

水 稲 乳白米防止のため穂肥は適期に適量を!

1. 分施肥系の品種別穂肥施用の目安

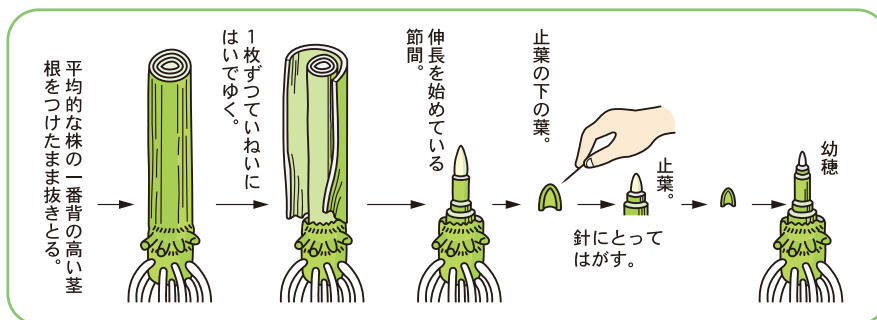
品種名	1回目				2回目
	幼穂長	葉色	穂肥名	施用量(/10a)	施用量(/10a)
ハナエチゼン (6月下旬頃)	2mm	4~4.5	エコ追肥	13kg	13kg 砂質浅耕田(17kg)
あきさかり (7月中旬頃)	2mm	4~4.5	エコ追肥	13kg	13kg 砂質浅耕田(17kg)
コシヒカリ (7月中旬頃)	10mm	3.5 (笹竹色)	エコ追肥	13kg	13kg 砂質浅耕田(17kg)

※2回目の施用は1回目から7~10日目に施用

コシヒカリの穂肥（葉色、根の張り具合をよく観察してください。）

稲の状態	葉色が3.5以上の場合 葉色が3.5未満でも、稲が柔らかく、葉が垂れぎみの場合
対 策	倒伏防止のため、1回目の穂肥の量を減らすか、 1回目の穂肥を施用する時期を遅らせる。

2. 幼穂の確認方法



2019年 農作業安全確認運動
まずはワンチェック、ワンアクションで
農作業安全

3. 紋枯病に注意

紋枯病は発生すると病斑から菌糸が伸びて隣の株に付着し、まん延します。病勢が激しいと葉鞘ばかりでなく葉や穂まで侵し、枯死などにより減収します。また、イネなどに形成された菌核は越冬して次年度の伝染源になるので、昨年発生した圃場では、必ずモンカット粒剤を散布してください。

薬剤名	10%あたり使用量	使用方法	使用時期	使用回数
モンカット粒剤	3~4kg	湛水散布	出穂10~30日前 ただし収穫14日前まで	3回以内

4. 畦畔草刈りの実施

斑点米発生の原因となるカメムシの発生密度を減らすために、最も効果的な第1世代幼虫の増殖を抑えるため、畦畔の草刈りを行いましょう。

県下一斉草刈デー 6月22日(土)、23日(日)、7月6日(土)、7日(日)

農作業時の熱中症に 注意しましょう

⚡ 高齢者は要注意 ⚡

高齢者は若者に比べ、暑さや喉の渇きを感じにくくなっています。周囲の人も積極的に声をかけましょう。